

有機農業の世界



◆渡辺（わたなべ）さんのプロフィール
昭和60年から、鹿児島県屋久島町で有機茶の栽培を始め、平成13年11月に有機JASを取得した。自ら耕作放棄地や山林を開墾、規模拡大して現在6.53haを営む。夫婦+従業員2人。有機茶葉については、市場評価の安定、収益の向上を図るために有機加工食品の認定を取得し、製造・直売のため、販売店を営む。紅茶などの商品開発にも力を入れており、屋久島茶業振興会の理事を務める。

◆有機農業を始めた動機
生まれ育った屋久島の自然・景観環境維持しながら、環境にやさしく、人に優しい産業として成り立つ農業経営を目指し、有機農業によるお茶の生産を始めた。



渡辺さんご夫婦と従業員

◆こだわわる点や技術
土づくりに当たり、自家独自設計の有機質肥料の投入、この有機質肥料の流入阻止のため山野草の敷き草を活用し、春先の施肥を重点化し、一番茶の収量・品質を高める取組を実施。
二番・三番茶を活用した石けんやシャンプー、紅茶、飴、ソフトクリームなどの商品開発にも力を入れている。

ほ場



◆病害虫対策
有機物を継続的に入れて土作りをしたり、茶樹の中切りや深刈り等の干技術の組み合わせ、スピリンカラー灌水による高湿度条件化によるクワシロカイガラムシ卵の腐敗化技術を導入し、被害拡大防止の実践。



◆新しい商品
渋みはなく、砂糖を入れずに飲める甘い有機紅茶の開発、有機茶葉を利用した石けん、シャンプーや飴の商品開発。
観光協会などとタイアップした販路の確保。

◆農業者の育成
屋久島が世界自然遺産ということから、環境保全型農業の実践に意欲が高く、有機農業に取り組む農家が3戸増え、19haに拡大。

◆今後の抱負
消費者に信頼される品質を維持向上しながら、世界自然遺産の島「屋久島」による有機栽培茶葉の銘柄確立や地位の確立。

◆主な販売先
荒茶は主に県内業者、製茶は島内のみやげ及び県内の業者

連絡先（電話・FAX）
09974-1315300